

## 3 三郷市の疾病等の状況

### 3-1 主要死因

○死因順位は、全国、埼玉県、三郷市ともに、1位「悪性新生物(がん)」が特に高くなっています。次いで、2位「心疾患(高血圧性を除く)」、3位「脳血管疾患」、4位「肺炎」まで同じ順位となっています。全国や埼玉県と同様に、生活習慣が原因となる病気が死因の上位を占めています。

図表2-67 死因順位(死亡率※)

(人口10万人あたり)

| 順位 | 全国           |       | 埼玉県          |       | 三郷市          |       |
|----|--------------|-------|--------------|-------|--------------|-------|
|    | 死因           | 死亡率   | 死因           | 死亡率   | 死因           | 死亡率   |
| 1  | 悪性新生物(がん)    | 273.5 | 悪性新生物(がん)    | 234.8 | 悪性新生物(がん)    | 217.3 |
| 2  | 心疾患(高血圧性を除く) | 143.7 | 心疾患(高血圧性を除く) | 122.9 | 心疾患(高血圧性を除く) | 89.1  |
| 3  | 脳血管疾患        | 97.2  | 脳血管疾患        | 79.9  | 脳血管疾患        | 57.6  |
| 4  | 肺炎           | 89.0  | 肺炎           | 71.7  | 肺炎           | 51.4  |
| 5  | 老衰           | 30.7  | 自殺           | 24.4  | 自殺           | 20.7  |
| 6  | 不慮の事故        | 30.0  | 不慮の事故        | 21.5  | 不慮の事故        | 18.4  |
| 7  | 自殺           | 24.4  | 老衰           | 20.1  | 肝疾患          | 15.4  |
| 8  | 腎不全          | 18.1  | 腎不全          | 13.9  | 腎不全          | 11.5  |
| 9  | 肝疾患          | 12.7  | 肝疾患          | 11.4  | 老衰           | 9.2   |
| 10 | 慢性閉塞性肺疾患     | 12.2  | 糖尿病          | 9.8   | その他の新生物      | 7.7   |

資料:三郷市 保健年報(H22)

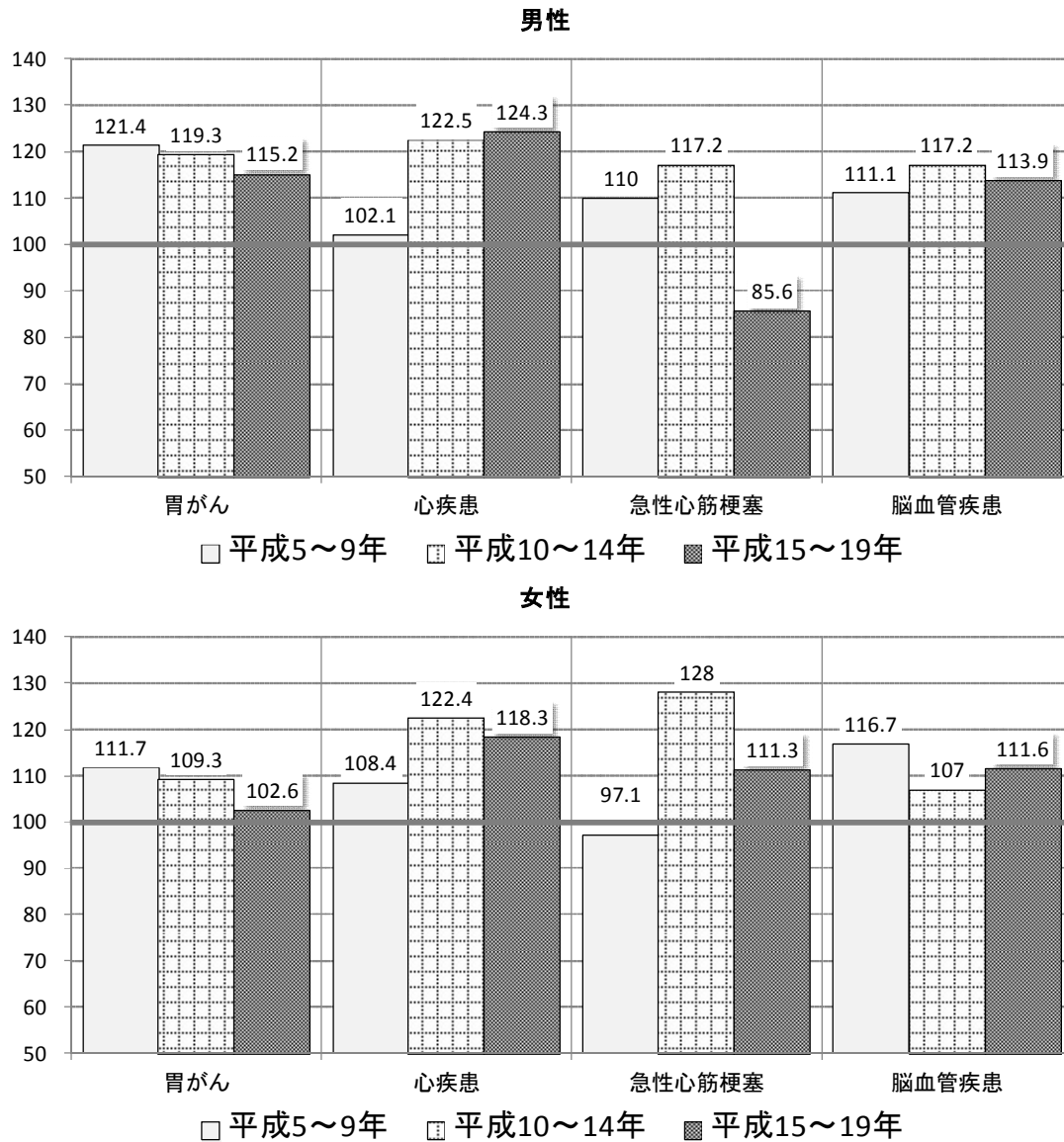
※死亡率…分母の人口を性や年齢などによって分けずに総人口とした率であり、実際にその人口が死亡において失われる程度を示すもの。

死亡率=死亡数÷人口×100,000

## 3-2 標準化死亡比

○男性の「心疾患」でわずかに増加傾向がみられ、総じて全国に比べ標準化死亡比\*が高いため、注意が必要です。

図表2-68 標準化死亡比(主要死因別) (全国標準を100とする)



資料:厚生労働省 人口動態保健所・市町村別統計

### ※標準化死亡比

死亡率を年齢構成の異なる集団において比較する場合、特に人口規模の小さい集団では、その集団の年齢構成の違いによる影響が出てしまう。

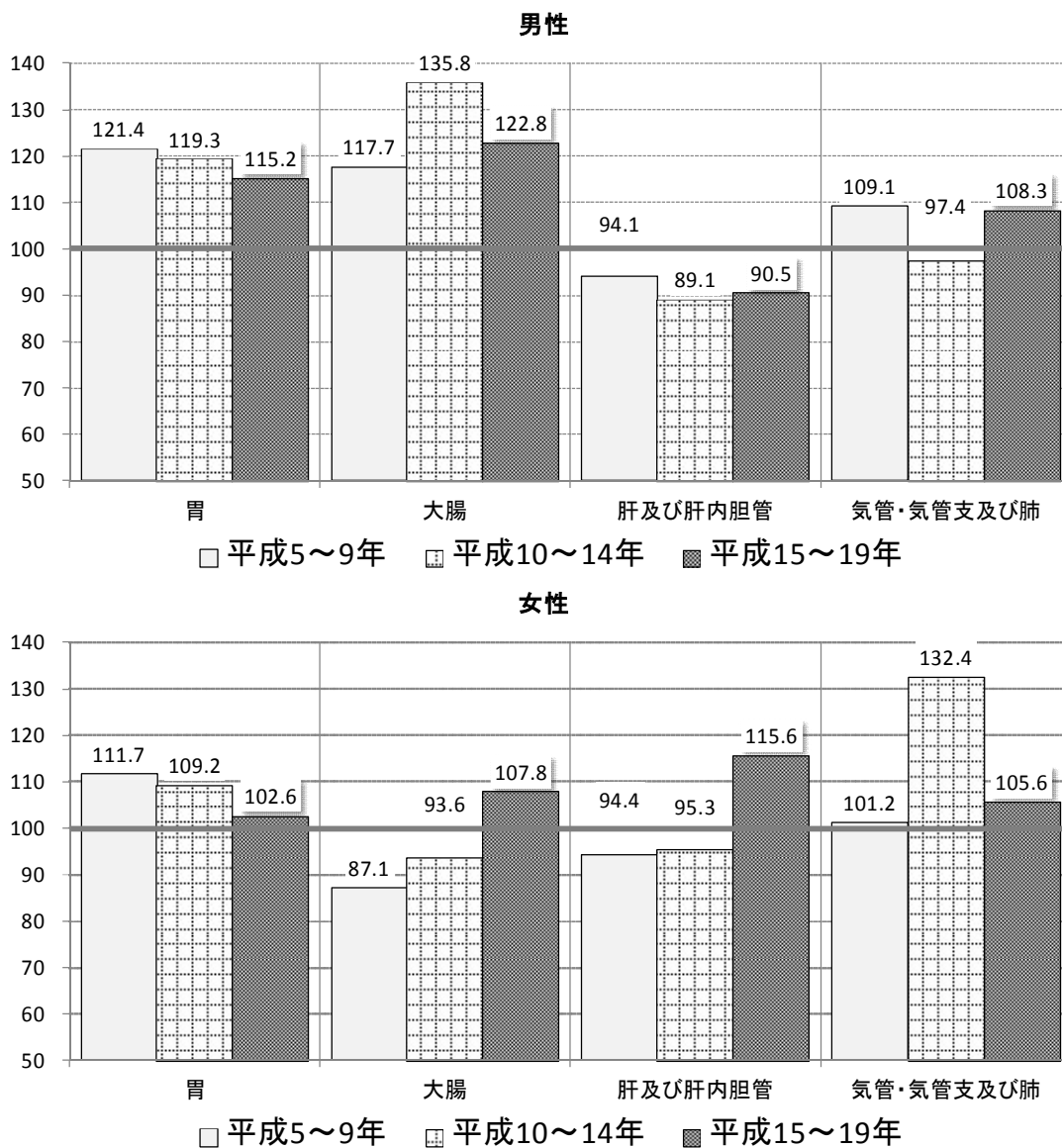
そこで、このような場合の年齢調整の手法として標準化死亡比が用いられる。標準化死亡比とは、標準とする人口集団(例えば全国)で何人の死亡が発生するかを予測し(これを期待値という)、実際に観察された死亡数を期待値で割った値となる。

標準化死亡比が全国基準値(100)より大きい場合は、その地域の死亡状況は全国より悪く、小さければ全国より良いことを意味する。

### 3-3 がん標準化死亡比

○悪性新生物のうち男女共に「胃がん」に減少傾向がみられます。しかし、女性は「大腸がん」「肝及び肝内胆管がん」に増加傾向がみられます。今後、がんの予防とともに、健診受診などによる早期発見・早期治療が重要と考えられます。

図表 2-69 部位別がん標準化死亡比(主要死因、男女別) (全国標準を 100 とする)



資料:厚生労働省 人口動態保健所・市町村別統計